

■ 領域代表より



領域代表 陰山 洋

9月初旬に小生と林先生、前田先生の3人で文部科学省にいき、中間審査を受けてきました。採択の通知を受けた2016年の7月から、常に中間審査のことが気になっていました。計画研究、公募研究の皆が一体となって、得体のしれなかつた複合アニオン化合物のサイエンスに挑んだ結果、革新的な成果とともに小さな芽を含む様々な新しい成果があがっている事実があるため、ある程度自信をもってプレゼンテーションに望みました。質疑応答は概ね順調に進んだと思いますが、各自が好きなことばかりやっているだけで共同研究に全くなっていないという旨の激辛のコメントもありました。前回のニュースレターでも書いたように、自発的に共同研究が発生していることが本領域の特徴と考えていたのでかなり意外でした。様々な学術分野にはそれぞれのやり方があるた

め、仕方がないことかもしれませんが、合成、解析、機能のどれをとってもまだ手探りな、未熟な状態であることも関係しているかもしれません。プレゼンテーションの難しさを改めて感じました。言いたいことが山ほどあったのでそれを詰め込み過ぎたのも反省点です。いずれにしても有機的な連携なくして本領域が全く進まないのは明らかですので、さらに強化しつつ進んでいきましょう。

お蔭様で、12月になって文部科学省からA評価をいただきました。要望としては、上述したさらなる班間の連携強化とともに、計算科学の積極的な利用がありました。3月には一期目の公募研究が終了し、4月から二期目の公募研究が開始されます。新たなメンバーが加わって、残り2年間で大きく飛躍できればと願っています。